

(参考資料)

※ 本資料は、牛乳パックの洗浄・脱水・排出の本市実践例として、参考程度に示すものであり、最終的に、牛乳パックは牛乳が付着しておらず古紙（いわゆる専ら物）として、リサイクル可能な程度に洗浄・脱水できていれば、実施方法は問わない。

4. 洗った牛乳パックの集め方

- (1) 水切りかごに、洗浄・水切りを終えた牛乳パックを逆さまの状態に並べ、掃除時間終了後（可能であれば放課後以降）まで置いておく。



パックを並べる間隔が狭すぎると乾燥の支障となる可能性があるため、適宜調整をお願いいたします。

※以下(2)、(3)の工程については、ポリ袋のかさを減らすためのものです。時間をかけて乾燥し、かつ児童数・学級数が少ない場合、省略いただいても差支えありません。

- (2) 牛乳パックを半分に折りたたむ。



パックの重なった部分は固いため、真ん中より少しずらした方が折りやすい。



- (3) 開いた牛乳パックの中に、半分に折りたたんだ牛乳パックを5個～8個※入れてかさを減らす。

※あまり少ないと、かえってかさが増えてしまいます。



- (4) ストローとシール、ストロー袋は、牛乳パックとは別に集める。



ストロー・シール・ストローの袋



牛乳パック

- (5) 牛乳を運んできたクレート（牛乳ケース）は、下膳時に給食室へ返却してください。

☆コロナ・アレルギー対応
として最後によく手を洗う

- (6) 掃除時間終了後（可能であれば放課後以降）給食室（またはダストボックス）へ運び、牛乳パックのみひとつのビニール袋に集約する。



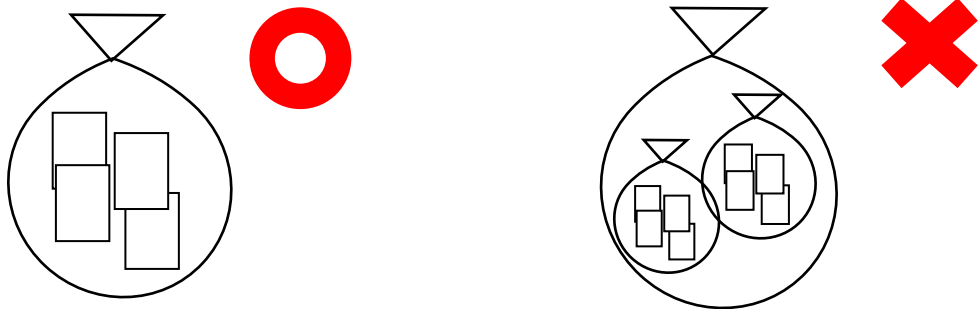
専用のペールなどを用
意すると集めやすい



- (7) ビニールごみを減らすためや、古紙業者が手作業でビニール袋を除去しなければならないため、ビニール袋が二重（ビニールインビニールは×）にならないようにする。

※破れにくいビニール袋を使用してください。

※ビニール袋の中には、洗浄後の牛乳パック以外は、絶対に入れないでください（未洗浄・未開封は×）。



牛乳パック用の「ダストボックス」は、牛乳パックを回収する回収業者が分かるように表示するなど、ご配慮ください。



×の例

- ・洗浄不足（牛乳が付着）
- ・脱水不足（牛乳と水が底に溜まっている）



○の例

- ・洗浄良好
- ・脱水良好

